

平成 21 年 11 月 9 日

観光立国に資する社会教育事例集について

国立教育政策研究所では、「観光立国推進基本法」（平成 18 年 12 月 20 日）制定を踏まえ、観光立国に資する全国各地の先導的な事例を収集し、社会教育の観点から分析・考察し、今後の社会教育事業の企画立案上の参考となる事例集として取りまとめましたので公表します。

1. 事例集作成のねらい

- ・ 生涯学習社会の進展に伴い、学習した成果を地域や社会の様々な場面で生かしたいと考える人が増えている。
- ・ また、観光立国推進基本法（平成 19 年国土交通省）では、「地域住民が誇りと愛着を持つことのできる活力に満ちた地域社会の持続可能な発展」を目指している。
- ・ 本事例集では、地域の文化や歴史、自然等様々な学習資源を活用した学習機会と、その成果を生かした社会教育事業を調査し、その概要及び成果と課題を整理することで、観光立国を推進する今後の社会教育事業の企画実施の視点を得るために取り組んだ。

2. 調査研究の概要

(1) 観光立国の推進と社会教育の関わり

観光立国の推進と社会教育の関わりについて、①活動や学習への地域の人々の意欲や願い、②地域に生きている文化を護り、洗練し、磨きをかける、③地域の活性化、という視点で整理した。

(2) 観光立国に資する活動事例

地域の自然環境、歴史、文化等について理解を深める学習活動や、その学習成果を生かした地域における取組等、特色ある事業展開を行っている社会教育事業や活動を①地域に関する理解を深める学習活動②学習成果を生かした社会参加活動③地域づくりに貢献する活動展開④地域の伝統文化の保存・継承活動⑤地域の自然環境等を考える活動という5つの視点で類型化し考察を行った。（別紙参照）

(3) 観光立国を推進する社会教育の在り方

先導的な社会教育事例の分析結果等をもとに、観光立国を推進する今後の社会教育事業の企画立案の視点、さらには運営の方向性や展望等を明示した。

3. 研究成果の活用・今後の予定

- ・ 本報告書は、社会教育に関わる行政担当者等が事業を企画実施する際の参考資料としてまとめたもの。
- ・ 全国の地方公共団体等に参考配布する他、社会教育実践研究センターのホームページに報告書の全文を掲載。（アドレス <http://www.nier.go.jp/jissen/index.htm>）

（お問い合わせ）

国立教育政策研究所社会教育実践研究センター

社会教育調査官 工藤 朝博（直通03-3823-8682）

専門調査員 近藤 真紀（直通03-3823-8683）

〔広報担当〕総務部庶務課課長補佐 高井 修

電話：03-6733-6911（直通）

平成 20 年度観光立国に資する社会教育事例集

概要

- ①観光立国の推進と社会教育の関わり
- ②観光立国に資する活動事例（5つの類型による事例紹介と考察）
- ③観光立国を推進する社会教育の在り方

観光立国に資する活動事例の類型

- 1 地域に関する理解を深める学習活動
- 2 学習成果を生かした社会参加活動
- 3 地域づくりに貢献する活動展開
- 4 地域の伝統文化の保存・継承活動
- 5 地域の自然環境等を考える活動

考察の視点

事業・活動について

- ①事業・活動の特徴
- ②目的・背景及び経緯・内容
- ③成果と今後の方向

類型別活動事例

- 1 地域に関する理解を深める学習活動
 - ほっかいどう学検定 ○えひめ地域学
 - 「山形学」の推進 ○すみだ地域学セミナー
- 2 学習成果を生かした社会参加活動
 - 世界遺産石見銀山ガイドの会
 - 岐阜市歴史博物館ボランティア
 - 孔子の里ジュニアガイド
- 3 地域づくりに貢献する活動展開
 - 子どもたちとともに、成長する金沢21世紀美術館
 - 今帰仁グスク桜まつり ○いわみ美術回廊
- 4 地域の伝統文化の保存・継承活動
 - とちぎ蔵の街美術館
 - 大鹿歌舞伎の保存・継承
 - 淡路人形浄瑠璃を継承する高校生
- 5 地域の自然環境等を考える活動
 - 三島町エコ・ミュージアム
 - 博物館の新展開—兵庫県立人と自然の博物館—

例) 大鹿歌舞伎の保存・継承（長野県大鹿村 大鹿歌舞伎保存会）

地域の伝統文化の保存・継承活動	事例名：大鹿歌舞伎の保存・継承	◎芝居を後世に伝えるために—後継者の育成— 定期公演が軌道に乗った現在も、保存会の伝承活動の一番の目的は、芝居を後世に伝えることであると強く意識されている。そのために力を入れているのが後継者の育成である。後継者育成では、すでに昭和50年に鹿埜中学校に「歌舞伎クラブ」を設立し、実際の役者である保存会員が指導に当たってきた。鹿埜中学校は、昭和56年に大河原中学校と統合され現在の大鹿中学校になったが、歌舞伎クラブは引き継がれ、大鹿中学校歌舞伎班として指導を受けている。歌舞伎班の生徒たちは、日ごろから現役の役者の指導を受け、10月の学校祭で成果を発表する。 また近年、大鹿小学校では年2回「ふるさと学習」の時間を設け、その中で「地芝居ワークショップ」を行って大鹿歌舞伎について学んでいる。ワークショップでは保存会の協力により、化粧や着付けの見学、義太夫語りや所作の体験なども行った。 さらに平成18年度からは、文化庁の民俗文化財伝承・活用等事業の補助を受け、歌舞伎教室を開催している。歌舞伎教室では、大鹿小学校の4年生と、中学校歌舞伎班の経験者の若者がそれぞれ冬の間に稽古を積み、その成果を3月に開催する「歌舞伎教室発表会」で公開している。この歌舞伎教室によって、それまでの中学校歌舞伎班に加え、大鹿小学校の生徒が芝居を習い、上演する形態が定着した。また村内には高校がないため、進学すると芝居に触れる機会が少なくなってしまう環境の中で、中学校歌舞伎班で芝居を習った若者が引き続き稽古を行い、上演する機会を得られるようになったことも、この事業の意義として大きなものである。
	事業・活動等の特徴	
	地域の伝統文化を生かし、国庫補助事業等を活用した事業展開、学校や行政との連携による後継者の育成	
	<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>蕨形民俗文化財「大鹿歌舞伎」</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>定期公演の様子</p> </div> </div>	
1 実施主体	<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 45%;"> <p>名称：大鹿歌舞伎保存会</p> <p>連絡住所：長野県下伊那郡大鹿村大河原 391-2 大鹿村教育委員会内</p> <p>先電話：0265-39-2100</p> </div> <div style="width: 45%; text-align: center;">  <p>中学生の稽古の様子</p> </div> </div>	

※ 事例集では、全15事例を紹介